

ニュージーランド政府機関が取り組む コンプライアンス対応

ニュージーランドの政府機関は、電子コミュニケーションデータのアーカイブと保持に関する法規制やガイドラインに従うことが求められています。これらの規制に準拠することは、罰金、制裁、およびその他の罰則に加え、電子メール、ソーシャルメディア、モバイルメッセージングの誤用によるリスクの回避につながります。

Retain Unified Archiving の概要：

- **統合アーカイブ：**
電子メール、ソーシャルメディア、モバイルコミュニケーションのデータを1か所にアーカイブします。
- **内蔵の NetIQ eDiscovery 機能：**
強力な e ディスカバリツールを追加コストなしで使用できます。
- **規制に適したアーカイブ：**
WORM ストレージ、きめ細かいデータ保持ポリシー、NetIQ eDiscovery、エクスポート、監査およびログ記録のフル機能、アーカイブへのアクセス制御、暗号化など、アーカイブの規制要件を満たしています。
- **アーカイブ検索：**
Google に似た検索ツールで迅速かつ容易に検索できます。



政府機関の規制およびガイドライン：

2005 年公記録法

この法令では、新しい記録保存フレームワークが導入され、現在重点が置かれているレコードの破棄に加え、政府による適正な記録保存に焦点が置かれています。この法令では、主な記録保存の要件が定められています。その中心となるのが、すべての公的部門と地方自治体における記録の有効な管理です。これにはアーカイブ転送のエンドプロセスだけでなく、すべての政府組織における新しい記録と現在の記録(文書、電子メール、書簡など)、ならびに保存記録の方法が含まれます。

公記録法による記録保存フレームワークには、明確な要件が設けられています。主要な要件は次のとおりです。

- **記録作成と保持の要件**
すべての公的機関と地方自治体は、通常の妥当な業務慣行に従い、職員および契約職員の記録を含めた、**完全かつ正確な記録を作成、保持する必要があります。**記録は、長期にわたりアクセス可能であることも求められます。

■ 「記録」の定義

法令では、あらゆる形式で収集、記録、または保存されるあらゆる情報と定められています。電子記録(電子メールなど)は、形式でなく内容に応じて取り扱い、記録保存システムで管理する必要があります。

■ 対象者

法令では、中央と地方の政府組織のあらゆるレベルで記録保存を求めています。この要件は、すべての公的機関と地方自治体に適用されます。

1982 年行政情報に関する法律 (OIA)

OIA は、公的情報の一般公開と、公開が拒否される特殊な状況について定めた法です。オンブズマンによる最新の年次報告では、削除された電子メールが OIA における文書にあたるかどうか論じられています。それについては、「削除された電子メールが取得可能である限り、OIA に従い情報を『保留』する…」としています。

1993 年プライバシー法

公的組織と民間組織ともに、個人のプライバシーを守るための一連の原則を定めています。原則 10 では、個人情報を持する組織は、その情報を合法的に利用するために必要な期間を超えて保持してはならないとしています。

「最新のデータ保持法に準拠したアーカイブソリューションを探していました。Retain で、内外のあらゆるコンプライアンス規制に対応できます」

STEFAN VETTER 氏
税務相談官・パートナー
Rieker - Alber - Thoni

Retain Unified Archiving により、組織に影響を及ぼす規制に対するコンプライアンスが確保されますが、それだけではありません。Retain Unified Archiving は、データの管理、電子メールシステムのパフォーマンス向上、コミュニケーションデータの継続的なモニターにも役立ちます。

お問い合わせ



規制上の問題を解消する Retain Unified Archiving の機能

マルチプラットフォーム、ポリシーベースの統合アーカイブ: OpenText™ Retain Unified Archiving は、電子メール、ソーシャルメディアデータ、モバイルデータなど、すべてのメッセージデータを 1 つの統合データアーカイブに保存します。これにより、1 か所から検索、公開、NetIQ eDiscovery by OpenText の実行を行うことができます。Retain Unified Archiving では、アーカイブする電子メール、モバイル、ソーシャルメディアのコミュニケーションデータを定義するために、ポリシーをきめ細かく設定することができます。

コンプライアンスと管理: 電子メールシステムの標準的なアーカイブ機能には、組織をデータ損失とコンプライアンス違反のリスクから守るために必要な機能が欠けています。Retain Unified Archiving は、この問題を解決します。そのために、自動ページの無効化、SmartPurge のサポート、アーカイブポリシーによる制御、PDF へのエクスポートのサポート、アーカイブされたメッセージの受信トレイへの復元、エクスポートされたメッセージの編集、メッセージの改ざん/削除禁止といった機能が揃っています。こうした機能を通じ、データアーカイブの完全性とコンプライアンスが確保されます。

Web Archive Viewer: ブラウザーベースの使いやすいインターフェイスと強力な検索ツールを備えているのは、Retain Unified Archiving だけです。これらを使用し、アーカイブに対するアクセス、検索、NetIQ eDiscovery を迅速に実行できます。

エクスポート機能: データを PST、PDF、またはスタンドアロンのアーカイブビューア形式で容易にエクスポートできます。エクスポートされたファイルは、すべてインデックスが付けられ検索可能で、目次が含まれるためすばやく参照できます。

編集: エクスポートしたデータは編集が可能です。個人情報や他の編集済み項目を記録開示請求に含めないようにすることができます。

訴訟ホールド: Retain Unified Archiving では、将来の訴訟で証拠になる可能性のある電子メールを訴訟ホールドの解除まで保護するために、アーカイブした項目にフラグを付けて削除などの行為から守ることができます。

監査証拠: Retain Unified Archiving では、アーカイブの検索権限を持つすべての管理者およびユーザーについて、検索可能な監査証拠が作成されます。これによりすべてのアクティビティを記録できます。

メッセージのタグ付け: 管理者やエンドユーザーは、カスタムタグや部外秘タグを作成してアーカイブ内のメッセージに設定することができます。検索可能なこのタグにより、NetIQ eDiscovery 対応が容易になります。

設定可能な権限: 設定した役割に基づいて、ユーザーや管理者などに Retain Unified Archiving システムの機能へのアクセス権を付与します。

メールボックス管理: OpenText™ Retain Web Access Archive Viewer により、データを容易に検索および復元できます。エンドユーザーは、メッセージの検索、転送、印刷、復元、アクセス、表示などの操作を、元のコンテンツのまま、管理者のサポートなしに行うことができます。

高速かつ容易な取得: Retain Unified Archiving には、Lucene インデックスエンジンまたは大規模デプロイメント用の OpenText™ Retain High Performance Indexing Engine が組み込まれています。

詳細はこちら：
www.opentext.com